

共同体育館の整備に係る意見聴取（1/17,1/18）

番号	意見・質問	回答
1	今後、府立大学の整備に関する予算措置はされるのか。今後の計画や展望について聞きたい。巨大なアリーナは府立大学には必要がないと思っているが、最終的な結論はいつ出るのか。平面図は公開しないのか。	規模等が決まらなければ予算措置は難しいため、それも含めて今議論しており、現時点では申し上げることが出来ない。最終的な結論は、今回の意見聴取会も含めて様々な御意見を伺った上で進めていきたいと思っており、しっかりと検討を進めたい。平面図について、京都府としては作成していないが、府立大学の学生ワークショップで作られたイメージ図がある。（1月18日の意見聴取会では、「学生ワークショップでの意見に基づく配置イメージ」を資料として配布、ホームページにも当日資料として掲載）
2	松ヶ崎でも1万人規模のアリーナの話に賛成する人はいない。現状の校舎は、学生が頑張って勉強をしたい環境だと思えない。学生のための体育館を早く整備してほしい。	（御意見として承る。）
3	都市計画法上の用途地域について、計画の場所は第二種中高層住居専用地域であり、現状では1万人規模のアリーナの建設は許されないのではないか。用途に合わないものが建設されると住環境が破壊され、周辺住民は受け入れがたい。	現状の用途に合わない建物の建設を計画するのであれば、都市計画の変更手続きを京都市と協議していくことになる。 住環境を破壊するという点については、この土地にどのような機能を持った体育館を作るべきかという検討をしているところであり、こういったものであれば住環境を破壊するかといった明確な答えは持ち合わせていない。
4	北山にアリーナは不要であり、向日町競輪場に整備地を決めてほしい。共同体育館の整備について様々な意見を聞くということだが、共同体育館の整備に時間がかかっていることにより、現在使われている校舎の整備が進まないのではないか。地震の多い国で国の耐震基準を満たしていない状態を長く放置する不作為の責任は大きい。早く校舎の建替えを進めていただきたい。	共同体育館の整備が進まないから校舎の整備が進まないということではなく、このふたつは切り離して検討を進めているところである。 校舎の整備については、学部学科再編に合わせた整備等を含め検討してまいりたい。
5	まず京都府が平面図、立面図、概要等の一切の計画と時期を示し、見直すべき内容や課題があるのであれば周辺住民や教職員、学生と議論して決めていくべきである。その計画等はいつ示されるのか。それらが提示されなければ議論にならない。	現在、様々な御意見を聴いて検討を進めているところであり、平面図、立面図等について、現時点で京都府としては作成していない。府立大学の学生ワークショップで議論した意見を座長がまとめた図はある。
6	共同体育館の整備内容が決まり、その建替え工事が終わらないと物理的に校舎の建替えが出来ないのではないか。	物理的に出来ないことはないと考えている。

番号	意見・質問	回答
7	共同体育館の整備を北山エリア整備基本計画の一部として進めていることが、整備が進まない原因ではないか。北山エリア整備基本計画は撤回し、大学全体としての構想を府立大学が出し、京都府はそれに対して財政支援をするべきだ。	北山エリアは各施設の役割や機能を高めながら魅力あふれた地域となることを目指しており、北山エリア整備基本計画はその議論をするためのたたき台である。学生利用を前提として、多機能・多目的な利用ができるよう専門家による議論と併せて府民ワークショップや学生ワークショップ等を開催しながら幅広い御意見を伺っているところである。本日の御意見も踏まえて検討を進めていきたい。
8	多目的な利用の検討を進めているために、整備が遅れているのではないか。	共同体育館は規模や機能、整備時期について現時点で決まったものではなく、学生利用を前提にしながら多機能・多目的な活用について御意見を伺っているところである。
9	耐震基準に則った設計図や建設時期を示して意見を聞くべきで、何ら案を示さずに幅広く意見を聞くべきではない。意見を聞いたところで決定権は知事にあるのだから、知事に意見はきちんと伝えてほしい。どのように知事に伝えるのか。	これまでの専門家からの意見聴取を含めて知事には報告してきており、本日の会議結果についても知事に報告する。
10	共同体育館の整備と校舎の整備を切り離して考えるのであれば、次年度に校舎整備の予算をたてるのか。現在使用している校舎の整備を急いでいるのなら、早く整備を進めなければいけないのではないか。	校舎整備の予算については、学部学科再編に合わせた検討を進めており、共同体育館の整備とは別に検討を進めている。共同体育館の整備が完成しなければ校舎の整備ができないのではなく、様々な要素を検討しながら進めている。
11	共同体育館の整備と校舎の整備は切り離して進めているという話だが、工事には資材置場などのスペースが必要で、大規模な工事の優先度が高いのであれば、そちらの工事が終わらないと物理的に校舎の工事を進められないのではないか。	校舎整備については学部学科再編に合わせて検討を進めている。併せて、体育館については仮設の体育館を設置し、授業ではそちらを使用している。規模や機能については決定したものはなく、どのようなものが良いか御意見を伺いながら進めている。
12	校舎整備の実施設計は終わっているのか。	(府立大学回答) 実施設計は終わっていない。令和4年度に、整備構想という形で教職員等から校舎を建てるとしたらどのようなものが良いかという概略図を作成した状況。
13	新学部新学科体制はいつスタートするのか。新学部体制がスタートすれば校舎整備が始まるのか。	(府立大学回答) 新学部の再編については、令和6年4月から始まる。学部学科再編に合わせた校舎整備を進めることとしており、精華キャンパスも含めた調整を、公立大学法人とともに進めているところであるが、必ずしも校舎整備ができなければ学部学科再編ができないということではない。

番号	意見・質問	回答
14	北山エリア整備基本計画は現実にそぐわない状態になっていると思う。そもそも完成までのタイムスケールが異なるものをひとつにまとめた計画にするのは不自然である。府立大学の耐震化率は国立大学に比べて低い状態であり、この状態を放置していることは京都府の大きな責任問題である。府立大学の整備は早急に進めるべきであり、校舎の整備について予算を措置し、次年度に何らかの形でスタートさせることはできないか。	予算については現時点では申し上げることができないが、校舎整備はスピード感をもって進めていきたい。スケジュールについては、旧総合資料館についての暫定活用が始まり、文化芸術拠点施設を計画しているが、埋蔵文化財調査や都市計画法の手続き等のため、一定程度時間が必要であると考えている。時間の差異については必ずしも遅い方に合わせるのではなく、全体を見据えながら整備を進めていきたい。
15	アリーナの整備地については、様々な人の意見を聞いて決定するとのことだが、他にどのような意見聴取を考えているのか。	この間、専門家、学生、地域の自治会や福祉関係の方など様々な御意見を聴取してきた。これらの内容を紹介し、今回広く府民の方から御意見を伺う場として設定したものであり、ある程度今回で御意見を収集できるものと考えている。 昨年12月20日に実施した共同体育館整備に係る意見聴取会議においても、座長から当会議での意見は出尽くしたとの御意見をいただいております。さらにその際に府民や地域の方からの御意見を聞いて検討を進めるべきであるという指摘をいただいたため、今回の意見聴取会を開催した。丁寧に御意見を聞きながら進めていきたい。
16	京都府には屋内スポーツ施設が足りないと言われているが、規模の小さな体育館は屋内スポーツ施設に入らないのか。国際大会は国が主体で行うものであり、京都府に国際大会を誘致できる体育館が必ずしも必要であるとは思わない。	各小中学校に体育館があることは把握している。文部科学省の統計において、大規模スポーツ施設に限った場合に、京都府は都道府県順位で下位であるという結果が出ている。国際大会は国が主体となって誘致するものもあるが、島津アリーナでの開催のように都道府県が誘致しているものもあり、また、全国優勝をするようなスポーツの盛んな高校、大学も府内に多くある。このような中で、今後のスポーツ振興を担う子どもたちのためにも、観るスポーツが必要なのではないかとということで議論を進めている。
17	先日、ハンナリーズからアリーナ建設のための署名の案内が届いたが、京都府とハンナリーズの関係はどのようなか。	ハンナリーズが署名活動をしていることは把握している。他の団体でも同じように署名活動を進めていると伺っており、そのひとつとして何らかのつながりのある方にも声がかかったのではないかと推測するが、はっきりしたことは把握していない。昨今、Bリーグの新しい基準が策定される話は伺っており、もし、京都府が検討しているスポーツ施設がそれにかなうのであれば、ハンナリーズとしては使いたいという思いをもっておられるのだと推察する。

番号	意見・質問	回答
18	府立大学の施設が耐震基準を満たしていないという話はいつから把握していたのか。	<p>(府立大学回答) 耐震基準については全国的に注目された際に、あらゆる公的な施設について調査を実施していると思われ、最近の話ではないと推測される。府立大学としても、早期に整備できるよう京都府と協議を進めているのが実態である。</p> <p>(京都府回答) 府立大学の耐震基準の現状については京都府も認識しており、グラウンドに仮設体育館を設置し、講義に支障がないようにしているところ。耐震性の非常に低い4号館をまず解体し、歴彩館に文学部を移設するなどできることから取り組んでいる。</p>
19	京都府は経済を優先して人命を疎かにしているのではないかと。経済を優先することで住環境が破壊される。	経済を優先しているという認識はない。北山エリアは京都が世界に誇る文化と憩いに包まれながら人生を豊かにする魅力溢れた交流エリアという位置付けをし、整備について様々な検討をしているところであり、住環境を破壊するということにつながっているとは考えていない。
20	今回の意見聴取会の場は、学生ワークショップの図面などを具体的に示した上でこういう体育館にしたいという意見を聞いてもらえる場であると思っていたが、今回で結論が出そうにはないのでがっかりしている。学生や地域のためにどのような体育館にすべきかという夢のある話ができる意見聴取会となるよう、改善していただきたい。	<p>学生のワークショップでの図面については本日は配布していないが、概ね2,000人規模の観客席を作り、地域利用も進めていくべきだという御意見もいただいております、これらの御意見も踏まえて検討していきたい。</p> <p>(1月18日の意見聴取会では、「学生ワークショップでの意見に基づく配置イメージ」を資料として配布、ホームページにも当日資料として掲載)</p>
21	意見聴取会は、形だけ開いたということではなく、住民の意見を聴き受け止める場としてほしい。	本意見聴取会は、昨年12月20日に実施した共同体育館整備に係る意見聴取会議で座長から「府民の方や地域の方から広く意見を聞くべきだ」という御指摘があり、府民の方の御意見をいただきながら丁寧に進めるために開催したものです。これまでいただいた御意見等についても知事に報告している。
22	共同体育館の機能について、京都らしさや文化芸術など様々な視点が盛り込まれており、欲張りな印象を受ける。北山エリアは一緒に計画・開発していけばもっと良いものができると思うので、北山エリア全体の開発についての図などを提示してほしい。また、提示した図面について意見を述べる場を設けてほしい。	北山エリアの整備は、各施設が抱える課題が異なるため、それぞれに外部有識者会議をもっているという背景がある。整備に当たっては北山エリア全体で捉えて今後どのように進めていくかという観点は重要だと思うが、今は、それぞれの外部有識者会議の議論が進んでいる段階であり、共同体育館も含めてそちらの整理ができた後、北山エリア全体の整理をした上で、説明会等も開催していきたいと考えている。
23	開発を進めるにあたり、府民の意見を聞く場をもっと設けてほしい。	(御意見として承る。)

番号	意見・質問	回答
24	1万人規模のアリーナは府立大学の中には不要だが、向日市で建設するにあたっては住民の合意を得てから進めるべきだと思う。大阪にも類似の施設があることから、規模も1万人に限らず、もっと少なくとも十分だと思う。	(御意見として承る。)
25	共同体育館を更地にするための予算は来年度の予算に含まれているのか。または更地にする場合は建築とセットになっているのか。	(府立大学回答) 令和6年度の予算において、更地にする予算措置の議論は進めていない。共同体育館の整備方針についても議論をしている最中であり、決定した方針に基づき京都府と予算について調整していきたいと考えている。 (京都府回答) 更地にすることと建物を建てることはセットになるだろうが、現時点で決定した方針があるものではない。特に老朽化の著しい体育館については、仮設の体育館を設置しており、4号館については更地にしているが、体育館の整備方針が決定しているものではないため、様々な御意見を伺いながら検討を進めているところである。
26	府立大学として、今の共同体育館の耐震を強化するという予算は検討しているのか。そのような予算について、京都府に投げかけていないのか。	(府立大学回答) 耐震強化する予算は現時点では進めていない。整備方針を議論しているところであり、予算について京都府とは現時点では協議はできないと考えている。
27	共同体育館は解体して建て直すことになると思うが、埋蔵文化財等の調査に時間がかかるということはないのか。	(府立大学回答) 今の体育館の一部を残して建替えるのか、すべて解体するのかなど様々な手法が考えられ、現時点では方針が決定しているものではない。
28	府立大学に多目的アリーナがほしいと考えている。地域住民として、近い場所にアリーナがあり、国際大会やアーティストのライブなどが観られたらうれしいと思っていたところ。そのように考えている地域住民もおり、多様な意見ということでお伝えしたい。	(御意見として承る。)
29	府立大学に通っている知り合いの話を聞いて、府立大学は交通の利便性や学費など恵まれていると思う。大学や公共施設の耐震整備も大切だと思うが、滞在時間は住宅に比べて短いと思うので、住宅の耐震化が進むよう行政には頑張ってもらいたい。	(御意見として承る。)
30	今回の意見聴取会の意見は知事まで報告するのか。	今回の会議の結果については知事に報告する。
31	今回の意見聴取会の内容は公開されるのか。	ホームページで公開する予定。

番号	意見・質問	回答
32	<p>府立大学に1万人規模のアリーナの建設が難しくなっていることが共通認識になってきたことはうれしく感じる。</p> <p>学生ワークショップの図面の中で、整備してほしい点をいくつかお伝えする。一点目はクラブボックスは学生の居場所や課外活動の場になっている場合もあり、残してほしい。二点目は、現在の弓道部は学内に弓道場がなく学外のスポーツ施設の弓道場を使用しており不便なため、設置してほしい。三点目は、現在、卓球部は卓球台を片付ける必要がなくいつでも気軽に練習ができるという良い状態で使えているため、その利用形態は残した状態で整備いただきたい。</p>	(御意見として承る。)
33	<p>大学の敷地は、本体、教育基本法に基づいてその目的が指定されているものである。それについて検討をせずに、アリーナの建設候補地として、府有地という理由だけで府立大学と向日町競輪場の2箇所で検討を進めている点について、不安を感じる。それについて説明や補足をしてほしい。</p>	<p>スポーツ施設のあり方懇話会等では、スポーツ施設の建設候補地として府有地である2箇所があがっている状況である。それ以外について、例えば市町村の敷地や用地取得をするのか等の考え方がある中で、府の施設を建てるにあたっては府有地を候補地として挙げているものである。</p> <p>大学の設置基準等の法令に合致したものを作るというのは当然であり、法令を遵守した上で多機能、多目的な利用を検討しているところ。</p>
34	<p>アンケートではなく府民や学生と対話をしながら検討を進めているのは良いことだと思う。子どもやシニア、障害者や外国籍の方等と一緒に考えるインクルーシブデザインにより、バリアフリーではなくユニバーサルデザインの実現をしてほしい。地域に開かれた府立の大学で整備するというのは、学生にとって良いチャンスになる。府立大学の学生がプロジェクト学習の場にできると良い学びになると思う。</p>	<p>バリアフリーではなくユニバーサルデザインという視点は重要である。ハードのみならず、ソフトも含めたユニバーサルデザインが今後大事になると思う。プロジェクト学習の場としての活用については、先般、共同体育館整備に係る意見聴取会議の上林座長からも地域に開かれた大学ということで、学生が整備に積極的に関わっていくのが良いのではないかとこの御意見もいただいたところ。府立大学からも、積極的に府民利用の運用を図っていききたいという御意見もいただいたところであり、提案の趣旨を汲んで進めていきたい。</p>
35	<p>体育館は老朽化により使用停止になっているのか。クラブ活動では使用しているのか。</p>	(府立大学回答) 第1体育館については授業では使用していないが、クラブ活動については使用を許可している。
36	<p>大学は、生徒と大学の契約の上に成り立っているもの。今の体育館ではその契約関係が阻害されるのではないかと。アリーナが府立大学にできた場合、授業との使い分けはどのようにするのか。アリーナを作るのであれば、大学の授業との使い分けがきちんとできるのかがわかるスケジュールを明確に出してほしい。</p>	当然、大学の利用が前提である。共同体育館について、現時点で具体的に規模等が決まったものはなく、国際大会での利用を前提とした使い分けの検討はしていない。

番号	意見・質問	回答
37	<p>今の府立大学の設備は府民も使えるはずだが、どうか。体育館を府民との共用にするのであれば、その管理がきちんとできるように人員の配置や設備の整備をしてほしい。</p> <p>規模が大きくなれば、維持管理費が高くなる。アリーナを整備することによりそれに見合うメリットはあるのか。メリットがあるのであれば、それについて説明した上で議論してほしい。</p>	<p>(府立大学回答) 大学施設の一部は府民の方にもご利用いただいている。</p> <p>(京都府回答) 共同体育館については現時点で規模や機能等に決まったものがないため、今回、府民の方から御意見を伺っているところ。経済効果については、機能等が固まった段階で想定することになる。</p>
38	<p>経済効果等のメリットを整理した上で、説明会や意見聴取会などを開く予定はあるのか。</p>	<p>決まったものを提示して御意見を伺うのではなく、意思形成過程の段階で府民の方に御意見をお伺いすることで丁寧に進めているもの。共同体育館については学生利用を前提としながら多機能・多目的な利活用について様々な御意見を伺っているところ。</p>
39	<p>共同体育館の整備について、地域利用や障害スポーツ施策、防災など様々なことを盛り込みすぎていると感じる。学生や先生の意見を優先した体育館にしてほしい。</p>	<p>(府立大学回答) 大学の教育施設としての整備が前提であるということは大学から京都府に伝えている。</p> <p>(京都府回答) 防災施設等について、京都市立の小学校、中学校等の体育館もあり、京都市と一緒に京都府も防災施設として何ができるかと考えてまいりたい。また、周辺の地域利用も含めて利活用することで、大学としてのプレゼンスが上がっていくと思う。配布資料にあるとおり、大学の意見としても、地域に開かれた大学としての運用を図ってきたいという御意見もいただいているところ。</p>
40	<p>府立大学の整備は時間をかけすぎている。どのくらいのスパンで作るのか、どれくらいの予算を投じようとしているのか。府立医科大学、府立大学精華キャンパスの整備など次々と計画があるが、建物については整備が進んでいない。</p>	<p>それぞれの校舎の状況については把握しており、議論を早急に進めてスピード感をもって整備を進めていく。早急に規模を決定するにあたり、府民の皆様の御意見を聞く場は必要だろうという判断で今回開催したものである。</p>
41	<p>体育館は、共同体育館とのことだが、工芸繊維大学や府立医科大学には意見を聞いているのか。これから意見を聞くということになると、また議論に時間がかかるのではないか。</p>	<p>共同体育館として府立大学以外の大学からも御意見を聞く必要があるということであれば検討させていただくが、まずは体育館が存している府立大学の意見を優先して考えていくべきだと思っており、学長には共同体育館整備に係る意見聴取会議の委員にも就任いただいているところ。</p>

番号	意見・質問	回答
42	<p>共同体育館のワークショップについて、多くの参加者が府立大学へのアリーナ建設に賛成だったと聞いている。建設に反対する人を排除して開催したのではないのか。希望者全員は参加できないのか。</p>	<p>定員に対し参加申込者が多数の場合、パソコンを使い、職員の意図が入らないように抽選を行っているため、反対している方を排除しているということはない。また、配布資料のワークショップの意見のまとめにもあるとおり、共同体育館の規模について、最小限で良いという御意見もいただいたところであり、アリーナの建設に賛成か反対かに関わらず多様な御意見をいただいたと認識している。</p> <p>本日の意見聴取会は、100名定員で2日間の開催を予定していたが、参加希望者が定員に満たず、全員参加いただけている状況。様々な御意見をいただく手法として、意見聴取会やワークショップ等の異なる形態をとっており、手法によっては参加者数に制限を設けなければならないことについてはご理解をいただきたい。</p>
43	<p>一昨年、京都府から地域に向けて配布されたニュースレターの「よくある質問」の項目で、植物園にショッピングモールができるのか、という質問が掲載されており、京都府がそれを否定する内容となっていたが、そのような質問が本当によくある質問なのか疑問である。</p>	<p>ショッピングモールについては、集客施設の例示として載せたのではないかと考えている。</p>
44	<p>様々な意見を聞く中で、共同体育館に多機能・多目的さを求めるのは理解できるが、すべてを盛り込むのは不可能だと感じる。府立大学には学生のための体育館を作り、府民向けには他に体育館を作れば良い。</p>	<p>共同体育館の整備については、学生の利用を前提に、多機能・多目的な利活用となるのが良いと考えている。</p> <p>防災機能や地域医療の観点でも、京都府の施設だけですべてをまかなうのは困難であり、京都市や近隣の小学校、中学校の体育館などと役割分担して協力して進めていくべきだと考えている。</p>
45	<p>大学の中を外部の人がたくさん移動することを懸念する。配布資料のイメージ図には人の流れが記載されていないが、できるだけ外部の人が大学の中に入らないように工夫してほしい。</p>	<p>府立の大学として、地域に開かれた大学という一面をもっており、外部の人が入らないようにしてほしいということについては御意見のひとつとして承るが、大学としての意見も聞いていきたい。</p>
46	<p>共同体育館の機能や目的は絞った方が良い。</p>	<p>御意見として承る。</p>
47	<p>今後、共同体育館整備に係る意見聴取会議の開催予定はあるのか。</p>	<p>昨年12月20日の共同体育館整備に係る意見聴取会議において、座長から、意見聴取会議としての議論は尽くしており、これで終了で良いのではないのかという御意見をいただいたところであり、今後、様々な御意見を聞く中で、どうするか決めていきたい。</p>

番号	意見・質問	回答
48	数年前に京都府のホームページで1万人規模のアリーナの建設の計画を見た。市民が反対の声を上げなければ今頃は工事が始まっていたのではないかと思う。市民の声も聞いてほしい。府立大学の中には1万人規模のアリーナではなく、普通の体育館を整備してほしい。	(御意見として承る。)
49	共同体育館整備に係る意見聴取会の委員について、大学の教授等が含まれているが、委員の所属について学部までしか記載がなく、幅広い専門家を委員として採用したのか疑問に思う。	共同体育館の意見聴取会議は8名に委員として就任いただいております、委員の名簿は公表しているところ。具体的には、ファイナンスや地域振興、スポーツ施設の設計、競技団体、障害福祉やインクルーシブ、防災、環境についての各専門家と府立大学の学長に就任いただき、幅広い御意見をいただいている。
50	学生ワークショップの意見は良いと思う。府立大学に1万人規模のアリーナの建設はなくなったと理解してよいか。観客席の2,000席というのは学生の意見か。	京都府はアリーナを建てると決定したのではなく、どのようなものを建てるかということについて、様々な御意見をいただいているところ。 配布しているイメージ図は、学生ワークショップの参加者等の意見をまとめて座長が整理したものであるが、建築の専門家である座長からは、設計をするのであれば改めてイメージ図の整理が必要であるとの御意見もいただいている。 学生から直接席数の言及があったのではなく、2,000人規模の大学であるため、その規模でどうかという話をされていたと記憶している。
51	参加者の中には意見聴取会の場で発言しづらい方もいると思う。アンケート等で意見を提出できる場を設けてほしい。	今回の意見聴取会については、応募フォームに意見の記載欄を設けており、記載いただいた内容については把握している。
52	北山エリア整備基本計画は京都府が作成しているにもかかわらず、案ではなくたたき台とのことだが、これを判断材料にして、事業者を選定するのではないか。府としてアリーナ機能を備えた共同体育館を作るとは言っていないということにはならないのではないか。	府としてアリーナ機能を備えた共同体育館を作ると言っていないということではなく、これを作るという判断を下したことは一度もないということである。北山エリア整備基本計画は、事業者を選定する目的で作成したものではない。
54	大学は、安全な場所であるべき。スピード感をもって進めてほしい。	様々な御意見を丁寧に聴取しながら、スピード感をもって進めていく。
55	配布資料のイメージ図は、最終的な整備の図面ができたときに全く違うものになっている可能性はあるのか。	配布資料のイメージ図はワークショップに参加した学生の意見をまとめたものであるが、府立大学としても他の生徒や教職員等の意見を聞いてもイメージ図に大きな変更はないということである。このイメージ図のまま建つかどうかは現時点では分かりかねるが、冒頭のワークショップでの意見の紹介のところで、イメージ図がないと分かりづらいという御指摘を前回の意見聴取会でいただいたため、配布資料として追加したもの。規模は今回の御意見も踏まえて検討していくことになる。